

## 重点施策15 図書館蔵書及び機能の充実

### 【施策方針】

地域文化の創造・発展に寄与するとともに、誰でも気楽に利用できる図書館を目指し、機能と経営の充実を図る。市民の読書意欲に応え、教養が深まる読書活動を推進する。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 図書館資料の整備及び充実
- ② 読書活動の推進及び読書団体等の育成
- ③ サービスの充実

#### (2) 主な施策・事業の実施状況

##### ① 図書館資料の整備及び充実

図書館は、蔵書の充実が最優先課題である。予算編成時に、蔵書購入費用が削減の対象とならないように財政部門に対して説明している。

蔵書の選択については、図書館流通センターから出される新刊リスト、ベストセラー、市民からのリクエストにより決定した。

##### ② 読書活動の推進及び読書団体等の育成

ボランティアグループによるおはなし会、子育てサロン・保育所・小中学校への読み聞かせ訪問、みかんぼんぼん文庫、図書館いこいこ！事業、出張図書館など各機関と連携して読書活動を推進した。また、おはなしボランティア養成講座を開催し、読み聞かせボランティアグループの育成及び向上に努めた。

##### ③ サービスの充実

図書館のコンピュータシステムを適切に維持管理し、利便性を確保した。

予約・リクエスト・相互貸借・レファレンス（調査）などのサービスを迅速に実施した。

### 【事務事業点検評価委員意見】

- 図書館で本を選ぶとき、自分の読みたい本や話題になっている本に出会うと、友達に会ったような嬉しい気持ちになる。八幡浜・保内両図書館とも、新刊、ベストセラー、児童書など、とても充実している。最新の情報をもとに、蔵書の選択をされているように思う。今後も、読みたい本がある図書館であってほしい。
- 子どものときの本との出会いは大変重要で、一生心の支えとなるものもある。しかし、最近、子どもの本離れもよく耳にする。本の世界に浸る楽しさを知らないでいる子が増えて

いるのではないかと危惧する。家庭で読み聞かせをしてもらえない子どももいることから、読み聞かせボランティアグループの活動を、ぜひ支援してほしい。

- コンピュータシステムを活用したサービスは、今後ますます必要になってくると思われる。スマホなどの利用サービスについても、整備を検討していただくとありがたい。

#### 【自己評価】

- 市民の学習・余暇活動等を適切に援助するため、市民の高度化・多様化する要求に十分配慮して、市民が求める資料を提供できるよう努めたい。
- 家庭での読み聞かせについては、ブックスタート、セカンドブック及び各図書館のおはなし会等の場で、重要性を継続して啓発したい。また、図書館から小中学校などの施設へ積極的に出向き、図書にふれ合う機会を提供したい。  
読み聞かせボランティアグループに対しては、充実した活動ができるよう今後も養成講座を実施し、連携を密にして援助に努めていく。
- 図書館システムの更新  
現在の図書館システムもスマートフォンによる利用は可能であるが、図書館システムを更新する際には、市民サービスのさらなる向上に取り組みたい。